

京成電鉄 モハ3000形 形式図

1958年に日本車輛が14輛製造した高性能電車
 都営地下鉄乗り入れを前提として生まれた車輛で、多くの新型電車と同様、電動車2両が1ユニットとなっている
 前面の貫通幌が埋め込み式に納まるのが特徴のひとつ
 台車はFS318とKS114の2種あり、図は偶数車(パンタ付き)で、KS114使用のものを示した
 なお、京成は1960年に1435mmに改軌されたので、この形式が1372mm軌間用として作った最後のグループとなった

